

# 日本文化学科

# 日 本 文 化 学 科

平成27年度入学者対象（学生番号「1415・・・」）

<卒業に必要な単位数>

科 目 区 分		単 位 数	
必 修 科 目	専門教育科目	22	26単位
	外国語科目	4	
選 択 必 修 科 目	専門教育科目	46	68単位以上
	共通教育科目	20	
	健康ｽﾎﾟｰﾂ科目	2	
選 択 科 目	専門教育科目	30単位以上	
	共通教育科目		
	外国語科目		
	健康ｽﾎﾟｰﾂ科目		
	他学科開設科目		
	教職・資格関係科目		
合 計		124単位以上	

## 日本文学学科

本学科では、「和」のこころを基盤に、理論と実技の両面から広く日本文化を理解し、世界に向けて日本文化を発信できる人材の育成を目指しています。日本の文学、言語、美術、伝統芸能、民俗、宗教等々、広範囲にわたる日本文化の諸領域を学習し、また実技科目では身体的アプローチで日本文化を体得することを通じて、日本文化に関する自己理解を深め、そうして得た知識を基盤にして社会に貢献できる人となることが本学科の学生には期待されます。

そのために本学科では、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成しています。

1. 初年次・2年次においては、大学での学習のための方法論の基本に習熟し、日本文化全般に関する基礎的理解を深めることを目標とします。
2. 年次が進むにつれ、各人の関心に応じて専門科目を多く履修できるようカリキュラムを体系的に編成しています。専門科目は、大きく「日本文学・日本語学系」、および「日本美術・伝統芸能・民俗系」に分け、国際的視野のもとに日本文化を学ぶ科目を多く設置しています。
3. 専門科目には、中学校・高校の国語の教職免許取得のための科目、および日本語教員養成のための科目を設置しています。
4. 上記の理論的科目のほかに、本学科では特に日本文化を体得できるよう書道、日本舞踊、茶道、華道、日本画、能の仕舞・謡いの実技科目を設けています。
5. 3年次には「専門演習」、4年次には「文献演習」で専門的な研鑽を積み、各人が選ぶ研究テーマで卒業論文を作成することとし、それまで以上に徹底した学生の個別指導を実施します。

以下では専門教育科目について必修科目と選択必修科目に分けて履修上の注意点を説明します。

### ○必修科目

必修科目は、卒業までに必ず単位を取得しなければならない科目です。指定されている年次に単位取得してください。

1年次の「基礎ゼミナール」は大学での学習の仕方を学ぶ科目、「日本文化入門(1)(2)」は、日本文化全般に関して広く学ぶ科目です。

2年次の「プレゼミナール」は、3年次の専門演習の準備のための科目であると同時に、コミュニケーション能力の養成を目的とする科目です。

4年次の「文献演習(1)(2)」は文献の読解法を学ぶ科目で、「卒業論文」と「特殊研究」はセットで卒業論文の作成を指導する科目です。

### ○選択必修科目

選択必修科目は、大きく5グループに分かれています。科目一覧表において太線で囲まれた部分が一つのグループとなります。注意点は、卒業までにそれぞれのグループの科目の単位を備考欄に書いてある数、必ず取得しなければならないということです。それぞれのグループについて説明します。

#### ①日本文学系科目

一覧表の「日本文学史(1)」から「世界の中の日本文学」までの科目で構成されています。それらの科目から選択して履修し、卒業までに6科目12単位以上を取得しなければなりません。

#### ②日本語学系科目

一覧表の「日本語学(1)(音声言語を含む)」から「くずし字を読む」までの科目で構成されています。それらの科目から選択して履修し、卒業までに5科目10単位以上を取得しなければなりません。

#### ③日本美術・伝統芸能・民俗系科目

一覧表の「日本人の美術(1)」から「日本の漫画・アニメ文化」までの科目で構成されています。それらの科目から選択して履修し、卒業までに7科目14単位以上を取得しなければなりません。

#### ④日本文化実技科目

一覧表の「日本文化実技Ⅰ(1)(書道)」から「日本文化実技Ⅵ(2)(能の仕舞・謡い)」までの科目で構成されています。それらの科目から選択して履修し、卒業までに6科目6単位以上を取得しなければなりません。

実技科目の場合には、同一名称の科目は、( )内の番号が若い順に履修しなければなりません。例えば、書道を例に挙げれば、「日本文化実技Ⅰ(1)(書道)」を履修しないで、「日本文化実技Ⅰ(2)(書道)」、などを履修することはできないということです。また、同一名称の科目を原則として前期・後期、つまり(1)(2)セットで履修してください。

#### ⑤日本文化専門演習科目

一覧表の「日本文化専門演習Ⅰ(1)(比較文化・日本文化論)」から「日本文化専門演習Ⅵ(2)(伝統芸能・民俗学)」までの科目で構成されています。それらの科目から選択して履修し、卒業までに2科目4単位以上を取得しなければなりません。

同一名称の科目を前期・後期、つまり(1)(2)セットで履修してください。また、これらの科目は3年次の科目で、4年次の卒業論文作成へとつながる科目ですが、本学科では3年次に4科目8単位履修するように指導しています。

※1 共通教育科目や専門教育科目の選択必修科目については、定められている単位以上に取得した場合は、超過分を選択科目の単位として認めます。

※2 卒業必要単位数のうち、3年次終了までに、取得合計単位数が86単位に達しない者は、4年次において「卒業見込証明書」は交付されません。

専門教育科目一覧表（必修）

科目名	単位	期間	年次	中学 国語	高校 国語	副専攻	他学科生 への開放	備考
基礎ゼミナル	2	半期	1				×	
日本文化入門(1)	2	半期	1	●	●	日	△	
日本文化入門(2)	2	半期	1	●	●	日	△	
プレゼミナル コミュニケーション講座	2	半期	2				×	
文献演習(1)	2	半期	4				×	
文献演習(2)	2	半期	4				×	
特殊研究	4	通年	4				×	
卒業論文	6	通年	4				×	

専門教育科目一覧表（選択必修）

科目名	単位	期間	年次	中学 国語	高校 国語	副専攻	他学科生 への開放	備考
日本文学史(1)	2	半期	1～2	●	●	日・女・地	○	12単位以上
日本文学史(2)	2	半期	1～2	●	●	日・女・地	○	
古典文学を読む(1)	2	半期	1～2	○	○	日・地	○	
古典文学を読む(2)	2	半期	1～2	○	○	日・地	○	
近代文学を読む(1)	2	半期	1～2	○	○	日・地	○	
近代文学を読む(2)	2	半期	1～2	○	○	日・地	○	
日本文学と女性(古典)	2	半期	2～3	○	○	地	○	
日本文学と女性(近代)	2	半期	2～3	○	○	地	○	
王朝の文化と文学	2	半期	2～3	○	○	日・地	○	
近代の文化と文学	2	半期	2～3	○	○	日	○	
漢文学(1)	2	半期	1～4	●	●	日・地	○	
漢文学(2)	2	半期	1～4	○	○	日・地	○	
世界の中の日本文学	2	半期	1～4			日・地	○	
日本語学(1)(音声言語を含む)	2	半期	1～2	●	●	日	○	
日本語学(2)(音声言語を含む)	2	半期	1～2	○	○	日	○	
日本語の歴史(1)	2	半期	2～3	○	○	日	○	
日本語の歴史(2)	2	半期	2～3	○	○	日	○	
日本語と文化	2	半期	1～4			日	○	
日本語教育入門	2	半期	1～2	○	○	日	○	
日本語教育史	2	半期	1～2	○	○	日	○	
日本語教授法(初級編)	2	半期	2～3			日	○	
日本語教授法(中上級編)	2	半期	2～3			日	○	
日本語教育演習(日本語教育実習を含む)	2	半期	3～4			日	○	
日本語教育海外実習	2	後・前	2～3			日	○	
書道学(1)	2	半期	1～4	●		芸	○	
書道学(2)	2	半期	1～4	○		芸	○	
くずし字を読む	2	半期	1～4			芸	○	
日本の美術(1)	2	半期	1～2			地	○	14単位以上
日本の美術(2)	2	半期	1～2			地	○	
日本の絵画	2	半期	2～3			芸・地	○	
日本の仏像	2	半期	2～3			地	○	
文化財の保護と修復(1)	2	半期	2～4			地	○	
文化財の保護と修復(2)	2	半期	2～4			地	○	
日本の伝統芸能(1)	2	半期	1～3			芸・地	○	
日本の伝統芸能(2)	2	半期	1～3			芸・地	○	
日本の民話・神話(1)	2	半期	1～3			地	○	
日本の民話・神話(2)	2	半期	1～3			地	○	
日本の宗教と思想(1)	2	半期	2～3			地	○	
日本の宗教と思想(2)	2	半期	2～3			地	○	
日本の祭りと儀礼	2	半期	1～4			日・地	○	
日本風俗史	2	半期	1～4			日・地	○	
日本の漫画・アニメ文化	2	半期	2～3			日	○	

日本文化実技Ⅰ(1)(書道)	1	半期	1～3	●		芸	△	6単位以上
日本文化実技Ⅰ(2)(書道)	1	半期	1～3	●		芸	△	
日本文化実技Ⅱ(1)(日本舞踊)	1	半期	1～4			芸	△	
日本文化実技Ⅱ(2)(日本舞踊)	1	半期	1～4			芸	△	
日本文化実技Ⅲ(1)(茶道)	1	半期	1～4			芸	△	
日本文化実技Ⅲ(2)(茶道)	1	半期	1～4			芸	△	
日本文化実技Ⅳ(1)(華道)	1	半期	1～4			芸	△	
日本文化実技Ⅳ(2)(華道)	1	半期	1～4			芸	△	
日本文化実技Ⅴ(1)(日本画)	1	半期	1～3			芸	△	
日本文化実技Ⅴ(2)(日本画)	1	半期	1～3			芸	△	
日本文化実技Ⅵ(1)(能の仕舞・謡い)	1	半期	2～4			芸	△	
日本文化実技Ⅵ(2)(能の仕舞・謡い)	1	半期	2～4			芸	△	
日本文化専門演習Ⅰ(1) (比較文化・日本文化論)	2	半期	3				×	
日本文化専門演習Ⅰ(2) (比較文化・日本文化論)	2	半期	3				×	
日本文化専門演習Ⅱ(1)(日本古典文学)	2	半期	3	○	○		×	
日本文化専門演習Ⅱ(2)(日本古典文学)	2	半期	3	○	○		×	
日本文化専門演習Ⅲ(1)(日本近代文学)	2	半期	3	○	○		×	
日本文化専門演習Ⅲ(2)(日本近代文学)	2	半期	3	○	○		×	
日本文化専門演習Ⅳ(1)(日本語学)	2	半期	3	○	○		×	
日本文化専門演習Ⅳ(2)(日本語学)	2	半期	3	○	○		×	
日本文化専門演習Ⅴ(1)(日本美術)	2	半期	3				×	
日本文化専門演習Ⅴ(2)(日本美術)	2	半期	3				×	
日本文化専門演習Ⅵ(1)(伝統芸能・民俗学)	2	半期	3				×	
日本文化専門演習Ⅵ(2)(伝統芸能・民俗学)	2	半期	3				×	

注) 選択科目は、専門教育科目の選択必修科目、共通教育科目、外国語科目、健康スポーツ科目、他学科開設科目、教職・資格関係科目等から30単位以上修得しなければなりません。

<科目一覧表の見方> (●:必修科目 / ○:選択科目)

- ・ 中学国語 … 教育職員免許状中学校一種「国語」の教科に関する科目
- ・ 高校国語 … 教育職員免許状高等学校一種「国語」の教科に関する科目
- ・ 副専攻 … 日:日本語教員養成コース、女:女性・社会コース、生:生命・健康コース、芸:芸術コース、地:地域研究コースに関する科目

詳細については、後頁の教職課程・資格・副専攻を参照してください。

## 日本文化学科 履修モデル

人材育成目標	「和」の心を基盤に、理論と実技の両面から日本文化を理解し、世界に向けて日本文化を発信できる人間の育成を目指す。		
目標達成に必要な能力	感性を働かせ創造する力（日本美術・伝統芸能・民俗系）		
養成する力	知的基礎力	日本語の特徴を理解する 日本と外国を比較・分析する	日本文化の特徴を理解する 日本文化を分析・思考する
	社会人基礎力	文章を豊かに表現する 文章を正しく読み解く	日本の感性を理解する 日本の礼節を理解する
		日本語で表現する力（日本語学系）	感性を働かせ創造する力（日本美術・伝統芸能・民俗系）
		日本語の特徴を理解する 日本と外国を比較・分析する	日本文化の特徴を理解する 日本文化を分析・思考する
		日本語を教育する 問題を発見し、解決する	社会の常識を理解し、価値を判断する 問題を発見し、解決する
		文章を豊かに表現する 文章を正しく読み解く	日本の感性を理解する 日本の礼節を理解する
		社会の常識を理解し、価値を判断する 問題を発見し、解決する	日本文化を創造する 日本文化を表現する
		「和」の心を発信する	
	4 年次	卒業論文 特殊研究 文献演習 (1) (2)	
	3 年次	日本文化専門演習 II (1) (2) (日本古典文学) 日本文化専門演習 III (1) (2) (日本近代文学)	日本文化専門演習 I (1) (2) (比較文化・日本文化論) 日本文化専門演習 V (1) (2) (日本美術) 日本文化専門演習 VI (1) (2) (伝統芸能・民俗学)
専門的教育科目	2 年次～	日本語教育海外実習 日本語教授法(初級編) 日本語教授法(中上級編) 日本語の歴史 (1) (2)	日本の絵画 日本の仏像 文化財の保護と修復 (1) (2) 日本の宗教と思想 (1) (2) 日本の漫画・アニメ文化
	2 年次	7 月セミナー	
	1 年次～	日本文学史 (1) (2) 古典文学を読む (1) (2) 近代文学を読む (1) (2) 漢文学 (1) (2) 世界の中の日本文学	日本文化実技 I (1) (2) (書道) 日本文化実技 II (1) (2) (日本舞踊) 日本文化実技 III (1) (2) (茶道) 日本文化実技 IV (1) (2) (華道)
基礎的教育科目	1 年次	日本文化入門 (1) (2) 基礎セミナー	

## 日本語教員養成コース

日本語教員養成コースは、外国人に日本語を教授する人材を養成するためのコースです。

近年の国内外における日本語学習は、日本の国際的な経済・文化活動と共に急速な高まりをみせています。

また、日本語学習の目的も大学や専門学校進学その他、企業への就職、介護や医療の現場での必要性等、多様化が進んでいます。

このような日本語に関する様々なニーズを踏まえ、本学科では日本語教員養成コースを開設しています。

日本語教員養成コースの修了者には、本学の「修了証」を交付します。

尚、本コースは日本文化学科に設けられておりますので、他学科の学生は、副専攻の「日本語教員養成コース」として履修してください。

### 日本語教員養成コース

日本語教員に必要な知識・能力	本学における授業科目	単位	必選	備考		
日本語の構造に関する科目	日本語学(1)(音声言語を含む)	2	必修	4単位	8単位以上	
	日本語学(2)(音声言語を含む)	2	必修			
	日本語の歴史(1)	2	選必	4単位以上		
	日本語の歴史(2)	2	選必			
	日本語と表現(1)	2	選必			
	日本語と表現(2)	2	選必			
	文章表現法	2	選必			
日本語の表現に関する科目	古典文学を読む(1)	2	選必	4単位以上	4単位以上	
	古典文学を読む(2)	2	選必			
	近代文学を読む(1)	2	選必			
	近代文学を読む(2)	2	選必			
	漢文学(1)	2	選必			
	漢文学(2)	2	選必			
日本の文化に関する科目	日本文化入門(1)	2	選必	4単位以上	4単位以上	
	日本文化入門(2)	2	選必			
	日本文学史(1)	2	選必			
	日本文学史(2)	2	選必			
	王朝の文化と文学	2	選必			
	近代の文化と文学	2	選必			
	日本の祭りと儀礼	2	選必			
異文化コミュニケーションに関する科目	世界の中の日本文学	2	選必	8単位以上	8単位以上	
	日本語と文化	2	選必			
	日本語教育史	2	選必			
	日本風俗史	2	選必			
	日本の漫画・アニメ文化	2	選必			
	子どもの文化人類学(多文化共生教育)	2	選必			
	基礎ドイツ語	★	2			選必
	基礎フランス語	★	2			選必
	基礎中国語	★	2			選必
	基礎韓国語	★	2			選必
日本語の教授に関する科目	日本語教育入門	2	必修	6単位	8単位以上	
	日本語教授法(初級編)	2	必修			
	日本語教授法(中上級編)	2	必修			
	日本語教育演習(日本語教育実習を含む)	☆	2	選必		2単位以上
	日本語教育海外実習	☆	2	選必		

★「基礎ドイツ語」「基礎フランス語」「基礎中国語」「基礎韓国語」のいずれかから2単位まで認めます。

☆「日本語教育演習(日本語教育実習を含む)」「日本語教育海外実習」の履修に先立ち、「日本語学」「日本語教育入門」「日本語教授法(初級編)」「日本語教授法(中上級編)」を前年度までに修得してください。

編入学等によって3年次修了までに「日本語教授法(初級編)」「日本語教授法(中上級編)」を修得できない場合は、同一学年次に「日本語教授法(初級編)」「日本語教授法(中上級編)」と「日本語教育演習(日本語教育実習を含む)」「日本語教育海外実習」のいずれかを履修することができます。